

12 月 30 日 : 利益確定が優勢となり下落

ベトナム株は金曜日に下落した。年末の休暇前に利益確定が優勢となった。ホーチミン取引所の VN 指数は 0.22% 安の 1,007.09 ポイントで取引を終えた。

209 銘柄は上昇し、189 銘柄が下落した。

流動性も低下した。売買代金は 7.4 兆ドンで出来高は 4 億株ほどだった。

指数は売り圧力にさらされた。特に大型株が売られる展開となった。

VN30 指数は 0.31% 安の 1,005.19 ポイントで取引を終えた。13 銘柄が下落し、14 銘柄は上昇した。

銀行、証券、飲食料品が下落を加速させていた。

一方、原油関連が上昇し、相場下落を和らげていた。

アグリバンク証券のアナリストによると、テト休暇を前に好材料は乏しく、投資家は警戒をしている。985-1,000 ポイントを割ると押し目買いが入っている。

つまり、投資家は安値での押し目買いのみを狙っている。この買いはおそらく外国人の買いであり、外国人投資家は年内最後の 4 営業日で 2 兆ドンほどを買い越している。

相場は方向感を失っており、年初の 1-2 日は下落を試す展開となるだろうと同氏は予想した。

第 4 四半期の決算を予想すると、航空、飲食料品などの好決算が期待されている。

ハノイ取引所の HNX 指数も 0.6% 安の 205.31 ポイントで取引を終えた。

出来高は 3560 万株で売買代金にして 4,717 億ドンほどが取り引きされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。